

視察研修報告書

「第57回自治体学校 in 金沢」

私は7月25日26日27日と金沢市で開催された自治体学校に参加しました。「戦後70年、憲法が輝く、ホンモノの地方自治を学ぶ」をテーマに、25日は全体会、26日は11の分科会と3つの現地分科会、そして6つのナイター講座が、27日には全体会が開かれ、全国から研究者・自治体職員・議員・住民運動関係者など1,000人余が参加し、「みんな先生、みんなが生徒」として学びと交流を深めました。内容を報告します。

1日目 全体会 本多の森ホール

記念講演 「地方自治の危機と再生への道～沖縄と憲法問題から考える」

講師 宮本憲一（大阪市立大学名誉教授、元滋賀大学学長、自治体問題研究所元理事長、専門は財政学、地域経済論・環境経済学など。）



沖縄の基地問題や原発再稼働問題、戦争立法など現在戦後最大の政治危機状況にある。氏は政治の改革をすすめてきたのは住民運動であり、革新自治体の誕生、公害裁判など戦後の歴史を踏まえ、これら問題の解決の方向は、憲法で規定された基本的人権擁護の市民運動と、民主主義制度を活用した自治体の革新、そして裁判であると明確に展望を述べた。

高齢にも関わらず力強く理路整然とそして分かり易い講演でした。

パネルディスカッション「戦後70年、築かれてきた平和と地方自治—その破壊を止めるために—」



コーディネーター 岡田知弘（京都大学教授）

国の地方創生の真の狙いは道州制の導入に向けて、地方と国の役割分担を整理していくことにある。すすめられていることは規制緩和による更なる企業の参入であり、住民の要求とは乖離しており矛盾を抱えている。

パネラー 武田公子（金沢大学教授）

石川県白山市の広域合併を研究検証。地域ごとの職員削減や予算配分を分析し、大合併による周辺部の衰退がどのように引き起こされたか明らかにした。

パネラー 岡庭一雄（前長野県阿智村村長）

「増田レポート」の狙いはいたずらに危機を煽ることにあり、名指しされた

自治体が諦めにつながらないか心配していると発言。氏は全国の小規模自治体を束ね「小さくても輝く自治体フォーラム」を2003年から開催し、経験交流と、実績をまとめる主導的役割をはたしてきた経験から、住民自治を高めれば、小規模自治体でも発展は可能であり、自治体消滅論を打ち破ることができることを実績で示した。

リレートーク

古堅茂治（那覇市議会議員）さんから「日米両政府による新基地建設強要に
保革を超えて立ち向かうオール沖縄の戦い」、田所賢治（大阪市役所労働組合）
さんから「草の根と取組で共同を広げ、勝利を勝ち取った住民投票」、丸山史架
（病院事務職員）さんから「青年による戦争法案反対運動の取組発展の経験」
の報告が語られ、現地の状況をリアルに感じることができる報告だった。

2日目 分科会 金沢大学角間キャンパス



第1分科会 「社会保障『解体』の現局面—医療・介護を中心に」

助言者 横山壽一（金沢大学教授）

この間の法律改正の経緯をたどり、「改革」の現段階について解説。医療、介護、生活保護など社会保障全般にわたって後退している現状、されに今後も進められる国による社会保障削減の道筋を明らかにした。

講義を受けて、石川県の民間介護相談事業所から総合支援事業への取り組み、大阪の病院から病院統合反対の取組、東京都足立区から生活保護の現状、石川県の特養の現場や大阪社会保障推進協議会から介護保険改悪の影響など、各地の現場で頑張っている職員から現状と取組の報告があり、質疑と意見交換が活発に行なわれた。社会保障の変質、削減が年々強化され、憲法で規定されている基本的人権が侵されつつあることをトータルかつリアルにつかむことができた。

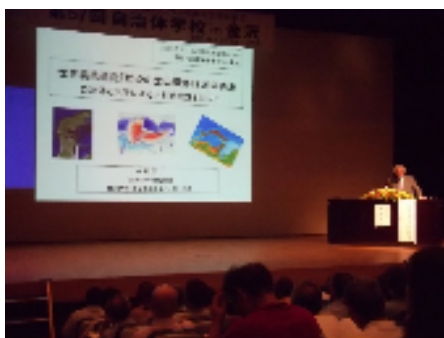
ナイター講座 第6 「国保都道府県単位化とは何か」

講師 長友薫輝（三重短期大学教授）



氏は参議院の厚生労働委員会で今年5月「医療保険制度改革関連法案」の参考人として出席、意見を述べた。そのときの資料をもとに国保の果たしている役割と都道府県化の問題点を解説した。大変分かり易いお話で、問題点をしっかりとつかむことができた。今後、議会の質疑で活かしていきたい。

3日目 全体会 石川県文教会館ホール



特別講演 「世界農業遺産能登の里山里海と地域再生～自治体と大学の連携による人材育成をとおして」

中村浩二（金沢大学特任教授・里山里海プロジェクト代表）

能登の里山里海は2011年世界農業遺産に認証されている。氏は大学の人材の育成と地域の活性化を結びつけるためのプロジェクトを立ち上げ取り組んできた。こうした経験は海外まで波及しつつある。国の進める地方創生とは別な住民主導の取組により地域の自然を守り地域の活性化につなげていく、その取組の重要性を学ぶことができた。

参加の感想と学んだこと

自治体学校への参加は6回目ですが、私にとって今回は久しぶりの参加であり、改めて学習の重要性、全国の経験に学ぶ重要性を再認識する機会となりました。主に社会保障の分野について学びました。社会保障の後退をどうくいともっていくのか、大変な課題ですがまずは現場をリアルにつかむこと、理論的に負けないよう学習を深めていきたいと思えます。